

ボーンフェイス団がバイデンを支持：アメリカのネオナチ 集団は CIA か

戦争犯罪に加担する米ネオナチ集団は CIA の手先か？

<https://sputnikglobe.com/20230906/boneface-backs-biden-are-us-neo-nazi-groups-engaged-in-war-crimes-a-cia-tool-1113152189.html>

Sputnik International

September 7, 2023



ジョー・バイデンは、敵対するドナルド・トランプを、「国内過激派と付き合っている」といって告発した。Podcast「最後のアメリカの放浪者」を創始し編集している Ryan Cristian は、ウクライナのナチスを武装させている、この大統領の偽善を指摘している。

CIA はファシスト集団を、自国と外国の国家政策の手先として使っている、とこの独立メディアの評者は語った。

〈血族団〉 **Blood Tribe** や 〈ゴイム防衛連合〉 **Goyim Defense League** といった、いくつかの数十人からなるナチス集団が、土曜日、フロリダのディズニー・ワールドへ向かって行進した。

血族団のリーダー、クリストファー・“ザ・ハンマー”・ポールハウスは、かつて米海兵隊に所属し、ウクライナのナチ「アゾフ大隊」 Azov Battalion を賛美している。

<https://sputnikglobe.com/20230806/nato-instructors-trained-neo-nazi-azov-battalion-soldiers-in-2021-1112420084.html> ポールハウスは加えて、自分は 2024 年には、トランプに対して、民主党の大統領バイデンを応援すると言ひ、その理由は、「バイデンがウクライナにロケットを送り」仲間のファシストを武装させてくれるからだ、と言った。

このラリーでは、ポールハウスの真横に、アメリカのネオナチ、**Kent 'Boniface' McLellan** がいて、それは彼の刺青だらけの顔から、容易く識別できた。

保守派の女性調査ジャーナリスト **Laura Loomer** の暴露した事実によると、アメリカ中央情報局 (CIA) は、2014 年、マクレランをウクライナに送り、ファシストの右翼セクターで人間嫌い分隊、アゾフの連盟軍に入隊させたという。

別のツイッターのスレッドで、彼女は、ボーンフェイス団が戦争犯罪に加担しているらしいのは、「ある市民の死体のすぐ側で、アゾフ大隊の制服を着ている」過激派の写真を送ってきたからだと言った。それは法医学専門家の確認を得ていると彼女は言う。

後に、このジャーナリストの証言によると、彼女はこのボーンフェイス自身から電話を受け取り、彼は、もっと多くの犯罪を告白した上で、彼女を脅したという。

「私は昨夜 1 時に、ケント・ボーンフェイス・マクレランから電話に呼び出されました。<https://twitter.com/LauraLoomer/status/1699287274331021611> これは誰かが、私の携帯の番号を彼にリークしたものです。そこで彼は「我々はローラ・ルーマーの顔写真を持っている」と言っており、それはハム・ラジオによるものですが、彼はその免許を持っていないのです。彼はこのビデオを、自分のツイッター・アカウントに公表し、私を札付きにしたのです。昨夜、マクレランは私と電話で話しながら、私にさまざまな犯罪の告白をしました。ここに、我々のアメリカ政府が、ウクライナで何をしているかの証拠があります。https://twitter.com/hashtag/Ukraine?src=hashtag_click これらは**戦争犯罪**です」と彼女は言った

ポッドキャスター、**ライアン・クリスチャン**はスプートニクに対し、これは「1つや2つのネオナチ集団の話でもなく、それらが、ウクライナに関係があるかどうかでもなく、もっと大規模の物語だ」と話した。<https://sputnikglobe.com/20230906/zelensky-sacks-defense-chief-as-erdogan-and-putin-meet-1113138655.html>

彼が強調したのは、純粋な人種差別主義者やファシストが、アメリカにも他の国にもいるが、米連邦がその隠れ蓑を提供している、と思われることである。

「私にとってより大きな全体像は、これらのグループのほかに、「愛国者フロント」のような、それと重なり合ういろんなグループを指摘することができ、それらとの直接的な関係を、より大きな CIA アジェンダに帰することができるのだ」とクリスチャンは言った。

それが本当に重要な理由は、ウクライナで我々は、「脱ナチ化」に関して〈ロシアのウソ〉というウソを大量に聞かされてきたからだ、と彼は強調する。メディア連合は**ウクライナのナチ問題**を、2022年の2月まで金切り声で論じてきたのに、突然それはぶつぷり消えたのだ。

それ以来、西側主流メディアは、一生懸命アゾフのことを隠そうとしてきた。彼らの軍団の数千人が——彼らの多くは、鉤十字の刺青やナチのシンボルで飾られている——ロシア軍の脱ナチ化作戦によって、早い時期に、マリウポリ都市部で降伏したにもかかわらず。

.....

「アゾフの動きは、私の知る限り、1948年に始まった CIA のアジェンダ通りで、それはまだ CIA とさえ呼ばれる前であり、彼らはファシズムを養成しながら、ウクライナ国家主義の組織を利用し、ナチ戦争犯罪者だった Mykola Lebed という男を使っていた」と、クリスチャンは言った。「それはネオナチでなく、現実のナチ戦争犯罪者で、CIA はニューヨークとウクライナで作った Prolog Inc.と呼ばれる会社を運営していたが、これはアメリカ市民に新聞を送りつけるメディア会社だった。.....

「そこで今、もし我々が Azov 運動は CIA の運動だと証明できるなら——少なくとも影響関係が現実なら——そして彼らが今、世界中で過激派を国際的に武装させており、これらのグループの一つがシャルロッテビルを行進し、MAGA における「白人至上」問題のベースになっているとしたら——それは、その要素があるという話でではなく、明らかにそれが CIA の作戦なのだ」と、クリスチャンは言う。

バイデンが、国内の極右過激派に立ち向かっているような主張をするのは、偽善であって、彼は何百億ドルもの兵器をキエフのネオナチ政権に送り、ロシア市民を殺そうとしているのである。<https://sputnikglobe.com/20230803/ukraine-using-colorful-toy-like-bombs-to-kill-civilians-as-west-runs-out-of-ammo-1112367541.html>

「我々が、バイデンのように、白人至上主義と戦うかのように言いながら、今世界で最も明らかなネオナチ勢力を援助することが、どれだけ馬鹿げているかを考えてみるがよい」と、クリスチャンは指摘する。「我々は例えば、1月6日の事件を知っているが、そ

こにはウクライナの資産とアゾフ運動の一部が関与した。それはすべて記録されている。・・・

[訳者 Greatchain 注]

ウクライナのネオナチ集団は、実は世界中に根を張っていて、その中心は CIA である可能性があるという内容である。CIA が関与するというより、CIA そのものが動いているのか？ CIA について、ここでいくつか論文を紹介してきたが、それは事実らしく思える。ゼレンスキーそのものが、初めから CIA によって育てられたと言われる。第2次大戦に遡って、「ペーパークリップ作戦」といわれるものは、アメリカがナチスの生き残りを利用したというより、むしろナチスとアメリカの同化政策であったと、今は思える。それは今日に至って、ますます現実となってきた。アメリカはその犯罪性において、ナチスと同じものであった。バイデンが許可したという、クラスター爆弾や劣化ウラン爆弾の使用という事実を見るべきである。

「墮落」という言葉が、ウクライナについてよく使われる。バイデンともウクライナとも協力体制を取ることを決意している各国家は、これをどう思うか？ それは武器や武力やカネ勘定の問題にはとどまらない。人間の精神の深い内部の問題である。